

第2回ファッション・デザイン分野有識者会議

開催日：平成29年7月24日(月)

有識者：長崎 巖氏(共立女子大学 教授)、樋口 一貴氏(十文字学園女子大学 准教授)、
澤田 和人氏(国立歴史民俗博物館 准教授)

1. 報告内容

- ・三分野合同連絡会議の結果
- ・アーカイブ中核拠点構想（対象資料の範囲、データベース案）
- ・今年度行う予定の調査・研究と来年度以降の方向性

2. アーカイブ中核拠点構想（対象資料の範囲、データベース案）について有識者からの助言

- ・よく考えられている。とりわけネットワーク構築の考え方は現実味と説得力がある。
- ・「ファッションデザイン収集対象案」については大分類で細分せず、小分類こそ細かく示した方が良い。
- ・対象資料の和装の概念が不明瞭である。
- ・データベースの検索のカテゴリは図録に記すものが一般的。参考にすべき。
- ・英語対応については、テクニカルタームはほぼ一定であるため作り易いか。
- ・データベースは誰を対象とするのかが重要。併せてプロジェクトのコンセプトも大きく紹介し、学術的意義、社会的意義を明確に示すのが良い。